

実務補習・実務従事 経験者アンケート設問

1. 診断士試験合格年度を教えてください

令和1年(ジェルネイル世代)/令和2年(アンゾフ世代)/令和3年(豆腐世代)/その他:

2. 診断士登録の為に実務補習、実務従事をどのように利用されたか教えてください。(未登録の方は予定で可)

実務補習 15日間コース/実務補習 5日間コース×3回/実務補習と実務従事を組み合わせた/実務従事のみ

3. 2の質問の答えを選ばれた理由を教えてください*

4. 期間中、チーム内でのコミュニケーション・情報共有のために使ったツールを教えてください(複数選択可)

メール/LINE/Slack/Facebook/Zoom/Dropbox/Google ドライブ/その他:

5. 実務補習を受講した地域を教えてください(複数回答可)

札幌/仙台/東京/名古屋/大阪/広島/福岡

6. 実務補習で苦労したこと、大変だったことは何ですか?(複数選択可)

- 診断先企業の社長へのヒアリング
- コロナ禍での制約(現地にヒアリングに行けないなど)
- メンバーとのチームワーク
- 担当指導員の先生の指導が合わなかった
- 担当指導員の先生にちゃぶ台返しをされた
- 社長へのプレゼン
- 実務補習のために有給休暇を取得すること
- 本業の仕事(企業内)との両立が大変だった
- 家庭(子育て)家事との両立が大変だった
- 実務補習にかかる出費が大変だった
- その他:

7. 実務補習での報告書づくりは何が大変でしたか?(複数選択可)

- Wordに慣れず大変だった
- 報告書独特のお作法に慣れず大変だった
- メンバー間のWordスキルが違って大変だった
- マージが上手くできず大変だった
- 特に困ることはなかった
- その他:

8. 実務補習の自主学習期間(2日目終了後から4日目まで)はどれくらい大変でしたか?

さほど負担ではなかった/まあまあ大変だった/噂通り徹夜をするほど大変だった

9. 実務補習・実務従事において、チームでの活動やコミュニケーションで苦労したこと・大変だったことはありますか?

あった/なかった

10.(9で「あった」と回答した方へ)具体的に何が大変でしたか?また、それをどのように乗り越えましたか?

11. 実務補習・実務従事を受けて良かった点を教えてください

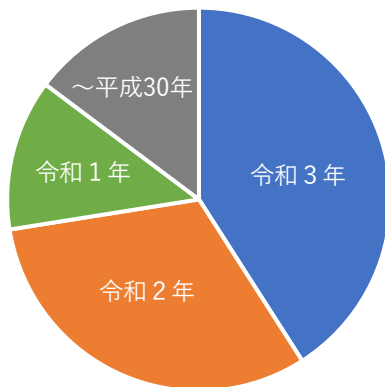
12. 実務補習・実務従事中に、特に印象的だったエピソードを教えてください。

13. これから実務補習・実務従事を経験する後輩に向けてアドバイスをお願いします!

実務補習・実務従事 経験者アンケート 149名からのリアル回答一覧

1. 診断士試験合格年度を教えてください

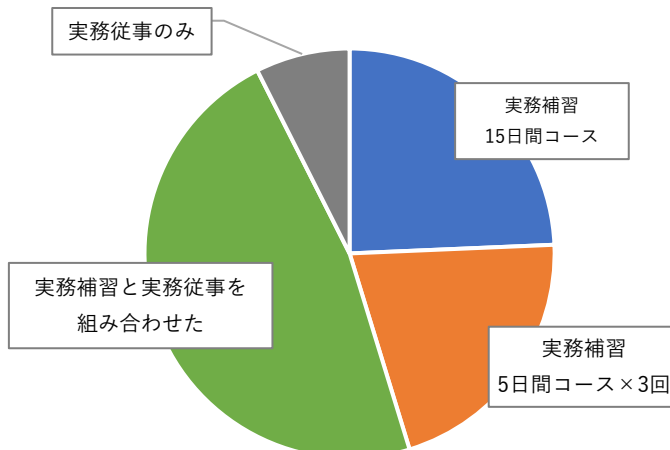
合格年度	人数	割合
令和3年(豆腐世代)	61	40.9%
令和2年(アンゾフ世代)	47	31.5%
令和1年(ジェルネイル世代)	19	12.8%
平成30年以前	22	14.8%
合計	149	100.0%



2. 診断士登録の為に実務補習、実務従事をどのように利用されたか教えてください。

登録パターン	人数	割合
実務補習 15日間コース	36	24.3%
実務補習 5日間コース×3回	31	20.9%
実務補習と実務従事を組み合わせた	70	47.3%
実務従事のみ	11	7.4%
合計	148	100.0%

※その他1名
「今のところ実務補5日間コース×2回です」
(未登録のためカウントせず)



3. 2の答えを選ばれた理由を教えてください

実務補習 15日間コース▽

- 一刻も早く診断士登録をしたかったから(20件)
- 登録まで一気に済ませたかったから(4件)
- 5日コースを終えた後、燃え尽きてしまうかもしれないと思ったので。
- ①登録までの期間を短縮するため。②実務従事の手がかりが無いから。
- フリーランス(独立開業)のため、最速で登録したかった。日程をわけると、その時々で申し込めるかどうか不安だった。
- 実務補習の枠がすぐ埋まり、15日しか予約ができなかったため。
- 何事も勢いが大事だから
- 勢いでつい。
- 早く受講しないと診断士への意欲が低下してしまうと思ったからです。
- 勤務する会社の方針。
- ①未知の実務の世界を早く知りたかった②合格前から有給休暇の予定をとっていたので。
- 受験時は実務従事の情報あまりなく、実務補習15日コースが登録の最短コースだと思っていたから。
- 1月の合格発表後、4月より3~5年の海外赴任が決まっており、それまでに完了するには2-3月の15日コースが実質的に唯一の選択肢だったため。
- ①すぐに中小企業診断士登録したかった。②協会の実務補習を受けることで、標準的な経営診断の型を覚えたかった。③診断士の同期仲間を作りたいだった。

実務補習 5日間コース×3▽

- 本業との日程調整のため(16件)
- 実務補習で、指導員のしっかりした指導を受けたかったから。
- 実務補習は一度は受けたい方が良く、先輩診断士から聞いたため。また、15日コースは通常業務との両立が困難と考えたため。
- 実務補習のほうに身になると思ったため、最低2回は受けたいと思っていた。
- 会社内の先輩等にお勧めされたため。
- 他にツテがなく、確実に登録ポイントを獲得するため。
- 様々な診断士の先生のスタイルを経験したかったから
- マスターコースの日程と8月の実務補習が被っていて、当時の塾長さんにマスターコースの実務実習で代替できないか相談したところ、「協会の実務補習は、3回で小売業、サービス業、製造業を経験できるようにアサインされる。3回やることを通して、診断の型を習得してもらうことが目的なので、協会としては基本的に3回受けてほしい」とコメントがあり、趣旨を考えて、素直に3回協会の実務補習を受けることにしました。
- ちゃんとした指導を受けた上で登録したかったため。地場の診断士と繋がりがなかったため。タキメン先輩から「失敗できる数少ない機会」と聞いており(指導員の先生がいる上にメンバー数名で実施するので)、苦手な役割も含めて色々な役割に挑戦したかったため(これはタキプロの先輩から聞いた話を受けてそう思った)。

- 中小企業経営をしている知り合いが周りにいなかったため。また、経営診断の方法を学びたかったため。
- きちんと訓練したかったから。
- いろいろなメンバーと出会いたかったから
- 2月は休暇が確保できなかったのと、実務従事は当時あてがなかったため。
- 1人での仕事が多く、チームでの仕事をしたかったから。人脈形成ができたらと考えたから。

実務補習と実務従事を組み合わせた▽

- 異なるプログラムを両方経験したかったから、一度は実務補習を受けたかったから(19件)
- 実務従事は時間の都合がつきやすかったから、仕事・家事育児との日程調整のため(14件)
- 実務補習にかかるコスト負担軽減のため(9件)
- 実務補習も経験した上で早く登録するため(8件)
- 実務補習の希望のコースが定員制限により申し込めなかったから(6件)
- 実務補習は大変学びが多いと先輩診断士に聞いていたため一度は補習を受けたいものの、平日の会社勤めと休日の家族サービスに与える影響から、短い期間に集中的に時間を要する補習は負担が大きい。
- 2回実務補習受ければ、内容の把握としては十分かと思った。
- ①実務補習3回分の予算を掛けたくなかったため、②自社やグループ会社の経営診断(実務従事)が可能であったため。勤務の関係で土日を中心とした実務従事を活用したかったこと、実務補習だけでなく様々な活動を経験したかったこと
- 取材の学校で実務従事の機会をいただけたので。実務補習は自分にとって一回で十分でした。
- 実務補習は1回で十分と事前に聞いていたので当初から実務従事と組みあわせるつもりだったが、1回目を受けてもう1度他のチームで実務補習を経験したいと思ったため。
- 先輩診断士より実務補習の大変さを事前に伺っていたため、実務従事を利用したいと考えていた。また、実際にどう大変なのかを体感しておきたい、一度体系的に診断業務を学んでおきたいという理由から、実務補習も申し込んだ。
- 実務従事をする機会がありましたので、実務補習2回+実務従事にしました。
- 実務補習の良いところ(総合的な診断ができる、指導員がいる)と、実務従事の良いところ(支援内容が特化専門化されている、コスパが良い・無償)をフル活用できたから
- 実務補習は総合診断できるようになるのに必要だと思っていて、最低2回はやりたかった。お金かかるのであとは知り合いの所での実務従事でよいと思った。
- 実務補習は共通言語として1回受ければ十分と思ったため。副業で仕事をしている2社へ依頼して、実務従事のポイントを獲得した
- お金を払って、診断業務をすることに抵抗を感じたから
- 実務補習は2回やれば十分だと思ったので、残り5ポイントは負担の少ない実務従事にした。
- 実務補習と実務従事、両方を経験したかったから。また2月は参考書の執筆にたずさわっていたので実務補習15日コースの受講がスケジュール的に難しかったから。
- 夏の実務補習を申し込みし忘れてしまい、取材の学校の実務従事で10日間分取りました。

- 2月の実務補習5日間を受講。一通りの経験を得たこと、また登録に必要な残り10日分の費用負担を考慮したこと、また一緒に受講したメンバーの相性も良かったことから自分達で企業を探し実務従事をする事とした。
- 知り合った診断士から実務従事をさせてくれるという話を受けたため、組み合わせにてポイントを集めました。
- 実務補習5日×3回の予定だったが、運良く県協会の研究会経由で1回、実務従事に参加できた。地方からの参加ゆえ、交通宿泊出費が抑えられ良かった。
- たまたま
- 取材の学校を申し込んだら実務従事がついていたから。
- 合格までで気力を使い果たし、まず5日間コース。その後民間の実務従事の機会があり10日間分。
- 補助金申請のお手伝いで、従事ポイントをもらえたので。
- いろいろな先生のやり方を学びたかった
- 地元で5日間学び後は実務補習にした。
- 実務従事を一度は体験するべきとのアドバイスをもらった

実務従事のみ▽

- 実務補習は日程が合わなかったこと、お金がかかること
- 早く登録を完了したかったため
- 取材の学校で機会に恵まれたため
- 実務補習争奪戦に負けたから
- 今年は実務補習を受ける時間がないが、診断士登録は早くしたかったから
- 実務補習は期間中にコロナの感染状況が拡大期だったので様子見でパスした。城東プロコン塾にて実務従事のみを2回受けた。
- 仕事の都合上
- 登録までの時間がなくやむを得ず…実務補習が受けたかったです
- ①仕事の関係で平日に休暇を取ることが難しかった、②早く登録したかった
- 当初は実務補習(5日間×1回)と実務従事(10日分)の組み合わせを計画しており、実務補習も申し込んでいたが、会社都合により実務補習に参加できなくなった。その代わりとして実務従事を用いたため、結果、「実務従事のみ」となった。
- 実務補習の2月の日程が仕事で休めない日が入っていて、8月も同じことがあるだろうと思い、従事にしました。

4. 期間中、チーム内でのコミュニケーション・情報共有のために使ったツールを教えてください

ツール	人数	割合
Dropbox	105	70.5%
メール	90	60.4%
LINE	82	55.0%
Zoom	64	43.0%
Google ドライブ	37	24.8%
Slack	36	24.2%
Facebook	35	23.5%
chatwork	19	12.8%
Teams	9	6.0%
discord	2	1.3%
One Drive	2	1.3%
その他	9	6.0%

5. 実務補習を受講した地域を教えてください

受講地域	人数
札幌	12
仙台	3
東京	70
名古屋	23
大阪	21
広島	14
福岡	3

6. 実務補習で苦労したこと、大変だったことは何ですか？

大変だったこと	人数
本業の仕事(企業内)との両立	80
診断先企業の社長へのヒアリング	44
メンバーとのチームワーク	39
実務補習にかかる出費	28
実務補習のための有給休暇取得	25
社長へのプレゼン	21
コロナ禍での制約	20
担当指導員の指導が合わなかった	15
家庭(子育て)家事との両立	14
担当指導員からのちゃぶ台返し	11
その他	8

7. 実務補習での報告書づくりは何が大変でしたか？(複数選択可)

大変だったこと	人数
報告書独特のお作法	61
マージ	53
Wordに慣れず大変だった	37
メンバー間のワードスキルの差	29
特に困ることはなかった	19

8. 実務補習の自主学習期間(2日目終了後から4日目まで)はどれくらい大変でしたか？

自主学習期間の大変さ	人数	割合
徹夜をするほど大変だった	29	21.2%
まあまあ大変だった	96	70.1%
さほど負担はなかった	12	8.8%

9. 実務補習・実務従事で、チームでの活動やコミュニケーションで苦労したこと・大変だったことはありますか？

苦労が…	人数	割合
あった	56	37.6%
なかった	93	62.4%

10. (9で「あった」と答えた方へ)

具体的に何が大変でしたか？また、それをどのように乗り越えましたか？

- 5日間コース2回目がリーダーでした。指導員の先生に指名されて引き受けましたが、自分の提言書を仕上げる以外にも、チームとしてのまとまりに対して責任があると感じていました。結果可もなく不可もなく、強い一体感を醸成できなかったことは反省です。
- 元請のコミュニケーションが雑であった
- メッセンジャーでのやり取りが中心だったが、複数人の意見を集約していくことが大変だった。
- 自分の意見に固執するメンバーがおり、チームとして折り合いをつけるのが大変だった。
- 論理的な説得を試みるのと、「顧客から見て、どうだろう」という投げかけによって、相手に気づかせるように仕向けた。
- メンバーの中に実務補習中に話した内容をTwitterに投稿する人がいたため、非常なストレスを感じたこと。投稿内容が、あまり公にしてほしくないセンシティブなことだったり、揶揄するような内容だったりした。乗り越えるために、実務補習中なのでブロックは控えたものの、その人の投稿をミュートにして見ないようにした。(終わってから即、ブロックしました(笑))
- お互いの進捗確認。メンバーそれぞれが本業抱えながらなので、負荷バランスの調整が必要だった。
- オフラインとオンラインの混在環境だったので、真意が伝わらずこじれることも。幸い5人メンバーのメンバーが、それぞれフォローし合える大人の方達だったので最後まで走り切れました。
- 2名で実施したこと
- チームにもよるが、基本年齢も性別もバラバラで、自主学習期間を挟むと全員で話し合う日も少なく、中々距離が縮まらない。
- 時間が限られているのに互いに遠慮が見られ、活発な意見交換ができず苦労した。→メンバー全員で飲みに行ったことで、一気に距離が縮まった。短期間での関係性構築には、飲みニケーションが最適だと実感した。
- 全員が teams 初心者だったが、リーダーの方針で全て teams 内でやり取りをしたため手間取ることが多かった。
- 殴り合いの一手手前までいってしまいました。
- 報告書の方向性が合わない。パソコンスキルが違いすぎてパソコン教室みたいになった
- 班長が独断で決めたがる方だった。おとなの対応である程度受け入れた。
- 大企業や役所出身のメンバーが多く、中小企業の経営者の状況を理解するのが大変だった。その結果、正解が分からず、分析や助言内容に対する意見が分かれることが多かった。
- 出自も年齢もコレまでの経験も違う5人が同じチームでやるので当初は戦略の策定などの意思統一を行うことになりかなり苦労した。
- 途中からパソコンのスキル差が顕著になり、最後は2人くらいで夜な夜なマージ作業となった。短い期間だったので良いやり方を仕組み化できず、時間とパワー勝負で乗り切りました。
- チームとしての全体方向性の統一。毎回数時間に渡って議論したが、全体戦略がきちっと決まってそれを実現するための各機能別戦略、とすべてが一気通貫で調和した回は残念ながら無かったのが実情でした。
- 文章を書く経験が少ないメンバーがいて、大変でした。筆が進むのが遅く、日本語も結構めっちゃで、メンバーの相互チェックで日本語を直しました。

- 15日コースの最初の5日間、班長に立候補したが初めてのチームメイトに気を使い、仕事の分担が上手くできなかった。方向性を明確に示せず混乱させた。また、積極性に差があったり自分より能力が高すぎたりで遠慮してしまいコミュニケーションが上手くできなかった。その後、ひとつの実習先を越えたところで皆と打ち解けて仲間を信頼しながら実習を進められるようになった。
- 価値観の違い
- 乗り越えられ無かったと思います。
- チームの中で「出来ない」と泣き言ばかり言うメンバーが一人いて、励ますのが大変だった
- 重複する部分の分担分け。最後は力業で、足りない部分を急遽補い、重なる部分は削除。
- 見識の高いメンバーとの意見調整。寄せて解決した。
- 様々な意味で個人差を感じた(実力もそうだが、やる気なども)。社長により良いもの+指導員にちやぶ台返しされない程度に段取りを意識した。
- 自分のパートと初めての方をサポートすることの両立が大変だが、同士愛で乗り越えた。
- 役割分担を厳密には決めないようにして、コミュニケーションを密にすることで乗り越えました。団結力は高まったと思います。
- チームの連絡は、一回め：社長インタビューと報告会以外はすべてZoom、かつ全メンバーが実務補習はじめてで議論が進みやすかった。メールでの補足やDropboxでの資料共有はしていたが不十分なまま終わった印象です。連絡は、表(指導員含めた連絡)がメール。裏(受講生どうしの連絡)はLINE。二回目：集合制で議論しやすかった。連絡はすべて表でSlack。三回目：集合制。表メール、裏LINEで問題なし。
- くせの強いメンバー(毎回1名はいる笑)。時間が短いので時が過ぎるのを待つ…
- チームで意見をあわせるのが大変だった。
- 優秀な人と会話をする疲労度の高さを知りました。
- 方向性の違い。結果、まとまりに欠けた。
- 期限ギリギリまでなかなか連絡がつかなかったりして苦労したが、信じて待った結果、なんとかなった
- 方向性合わせが難しかった。
- 私が個人的に乗り越えた
- 熱い議論を交わすうちにメンバー同士が陰悪なムードに。指導員のフォローで、その場はなんとかなった。
- 担当するパートの個々のレベル感や、質が違うので合わせるのが大変でした
- 班長やりましたが裏付けとなる知識や経験が少なくリーダーシップの発揮に苦労しました。周りに助けられました。
- そもそも複数名で何かを仕上げる仕事をした経験が皆無だったため、ノウハウゼロのまま進めて、メンバーにダメ出しされながら(私は班長)荒波に流されるまま乗りきった感じです。
- 自主学习期間の大半を各自分担した報告書作成に充て、コミュニケーションをほぼ取らなかったため、寄せ集めた際に章間の整合が大きくずれていた。4日目に全員対面で集まり、各要素をどこに割り当てるか、記載のレベル感をどう合わせるかなどを緻密に議論したことで、何とかまとめあげることが出来た。
- リアル参加が1人だったこと、遠方からの参加者が多く最後まで1度も会わないメンバーがいたことなどから、そもそものコミュニケーションのとり方、進め方など全てがオンラインだった。加えて、初日にそんなことになっていなかったので、イヤホンを持って行っておらず、PCに食い入るように近づいてほかの人の会話を聞かなければならずシュールだったこと
- 各人のレベル、住む世界の違い。

- コンセンサスをとるのに時間を使って乗り越えた。深夜まで zoom 会議してました。
- 指導員の先生から求められるレベルが高いこと。先生の発言内容を良く聞き取り、こういった方向で診断先に報告することが望ましいのかを考えた。
- コロナ禍でメンバーが6名→4名に減ってしまったこと。
- 実務補習でリーダーになったが、他のメンバーが優秀すぎて気後れしてしまった。ご飯を一緒に食べたり、LINE で励まし合ったりするうちに素直に自分の意見が出せるようになった。指導員の先生が隙を厳しくついてくるのが辛かったが、必死でついていくことで鍛えられた。
- 指導員と班員1名の相性が大変悪く、それが原因で報告書(協会提出ではなく社長プレゼン用)が仕上がらず、アポイントの時間を1時間ずらすハメになりました。
- 最終日前夜は貫徹しましたが、それでも間に合いませんでした。
- 人と人の問題なので乗り越えることはできませんでした。
- スキルやモチベーションの差。時間がなかったので、遅れている人の分を手伝った。
- 先生に反抗的な態度の人がいた。先生も話が長くて時間を使うので、どっちもどっち。乗り換えず、放置した。各自やることだけやればいいという空気だった。
- 連絡方法がメールだったので、前の内容を見返したり、どれがどこまで進んでいるのか把握したりするのが大変でした。
- ミーティング日程の調整。全員は無理でもある程度強行した。
- 作業を重ねて時間が解決してくれた
- ZOOM自体に慣れていませんでしたメンバーに教えてもらいました。
- メンバーの個人行動に対して口出しできない
- メンバーのやる気の度合いに差があったこと
- とんちんかんな発言にどう対処していいものやら、という場面がありましたが、大事には至らず、総合的にはいいチームでした。一緒に戦う仲間と言う感じ。
- 様々な年代の方がいるなかこれまでの経験の違いから議論がかみあわなかった。メールやチャットなどで丁寧に議論して方向性のすりあわせを行った
- 個々のスキル・バックボーンを理解。

11. 実務補習・実務従事を受けて良かった点を教えてください

- 尊敬出来る先生御二方と出会えた事
- 指導員の先生から、実務上のこと、これからの診断士ライフについて率直なアドバイスをいただけたこと。
- 企業診断のプロセスが学べ、経験できた。人脈作りになった。
- 試験勉強で身につけた知識を、実践で使う機会を早々に得られること。
- ヒアリング、報告書作成等の実務経験
- 15日コースは3人の先生に指導を受けることができた点
- 同じ境遇の仲間たちと知り合う事ができたこと。
- 診断業務の方針がわかって、参考になった
- まだ徹夜できる体力が再確認できました。

➤ 二次試験と登録後をつなぐ、良い経験になったと思う。診断士としての仕事への向き合い方が分かった。

➤ 診断報告の書き方を学べた。

➤ 入塾を考えていた城南コンサル塾の塾長に事前に話が聞けた。メンバーとの人脈ができた。

➤ 地元福岡の重鎮診断士先生とお近づきになれること。⇒名前を覚えてもらったり、仕事を斡旋してくれたり良いきっかけになりました。

wordでの報告書スキルがつくこと。⇒診断士としての文書のお作法を学べます。開業後は補助金等で色々な報告書や申請書を書きますがすべての基礎になると思います。

苦手な分野の知識がつけられる。⇒補習なので失敗もできます。苦手な分野にも挑戦することができて、否が応でも勉強して報告書を作成するので経験になります。

➤ チームで活動すること、一つの目的に向かって進むことを、指導員にサポートしてもらえらること。実務とは違う接し方ができた、してもらえたのが良かったです。

➤ ヒトモノカネを体験すべく、生産、財務、人事と担当したが、本業の生産管理とは少し遠い財務や人事についても体感することで世界の広がりを感じた。

➤ ①協会の経営診断の型が覚えられた。②同期合格の診断士メンバーとネットワークが形成できた。

➤ 座学で学んできたことを実務経験できたこと、チームプレイを経験できたこと、自分の日本語のおかしな癖を発見できたこと

➤ 仲間の結束が高まりました。今でも仲良くしてまます。

➤ チームのメンバーとの結束

➤ 実務補習メンバーと今も強いつながりがあること

➤ ①マインドセットを変化できた。②その後も付き合う友人ができた。

➤ 今後一生付き合っていける戦友(チーム)ができたこと。

➤ 実際の社長の悩みや中小企業の抱える問題に直面できたこと、アドバイスの内容に熱心に耳を傾けてもらったことは宝物のような経験だった。戦略を立てる大切さ、企業が持っているスキルの重要性、目線を上にして、少しでもいいものを提供しようという気構えなど、毎日学ぶことだらけだった。また、15日間だとメンバー同士の結束力が強くなるので、同期が増える、という安心感もある。

➤ 仲間ができたこと

➤ レポートの流れが把握できる。普段接点のない業界を知ることができる。

➤ 診断士とのお作法が学べた、指導員からの雑談が今後の診断士ライフの参考になった、同期の仲間ができた

➤ 他のチームメンバーから学ぶことが多かった

➤ 共通のスキルを持つ異業種の方との密な繋がりができことです。

➤ 3つの会社のヒアリング、チームメンバーのスキルと知見

➤ 実施後もメンバーとの交流があり、情報交換ができること

➤ 資料作成の基礎が学べた。チームメンバーのノウハウを学べた。

➤ その時の仲間とは今も協力できている。

➤ きつい期間を乗り越えたチームメンバーとの絆が出来たこと

➤ 短期間に集中してポイントがとれたこと

➤ 指導員、副指導員の先生と関係が構築でき、その後の診断士活動にプラスになった

- 診断技術を学べた。
- いろいろな企業、指導員、メンバーと実務に取り組めたこと。
- 良くも悪くも、チームで仕事を経験できたこと。
- 診断報告書の書き方がわかってきた。メンバーや指導員との人脈ができた。業界知識が深まった。
- 異世界を経験できること
- 自分では接点が作れないような企業の経営診断が出来た。世の中思ったよりも色々な仕事があることが分かり視野が広がった。
- 長年企業に埋没して暮らしてきたので、中小企業の社長さんから直接お話を伺えたことで未知の世界を垣間見た気がしました。また、ずっと独学でしたし、本業がエンジニア集団なので、文系の優秀な方と議論するような機会がこれまでほとんどありませんでした。診断士のお仲間と議論できたことはとても新鮮でこの点でも世界が広がった印象を持ちました。
- ベテラン先生の指導が参考になった。ローカル同期診断士仲間ができた。他の診断士の提案が勉強になった。
- 世の中にはこれだけ優秀な人達がいるんですねという発見があった点。
- 診断士の仕事を垣間見ることができた。
- チームでひとつのものをつくりあげる達成感
- 指導員の先生が的確に指導してくれた
- 知り合いができた
- 診断士としての仕事の流れを体験できたこと。社長さんから、喜びの声を聞いて嬉しかったこと。
- 指導員の先生方の話を聞くことが出来たこと。沢山の仲間に恵まれたこと。
- 仲間が出来た
- 試験脳から脱却できた。「社長の想いに寄り添え」の意味を理解した。知り合いが増えた。診断業務の大変さが分かった(そう簡単に診断業務なんてできないことがわかった)。
- 各回の取り組み方が違った。先生の雰囲気によるが、自主性を重んじたり、方向性が先生によって決められたりしていたが、おおむね課題を見つけて取り組むことができた。
- 実際の企業診断の流れを体験できてよかった。随時先生からのアドバイスをいただき、実際に診断士として活躍されている方の目線や考え方も近くで体験できる貴重な体験だったと考えています。
- 中小企業診断士の仕事の一部を経験できたことで、仕事のイメージが湧いたこと。多くのメンバーと協働することで、自身の強み、弱み(改善点)を実感できたこと。
- 三者三様の診断スタイルを経験できた点
- 実務補習では、指導員の先生から、どのように仕事を受けるのか、といった教科書には載っていないことを学ぶことができた点。また、協会支部のイメージをつかむことができた点。
- 診断の基本スタイルを習得できたこと
- 企業診断を少しは体験できた
- 上記のマスターコースの塾長さんのコメントどおりで、診断の「型」が身についたことだと思います。また、独学で合格したので、診断士業界や協会、研究会の情報がなかったのですが、そういった情報が先生や同期の方から入手できたのも大きかったです。
- 通常の仕事・生活では会えない人たちと会えて刺激をもらえたこと
- リアルな企業の診断を行えて勉強になった。また、責任の重さを感じ、もっと精進しようと思った。
- 様々な業種の方とコミュニケーションを取ることができて大変刺激になりました。

- 実際に企業とやり取りすることができた。勉強した知識の使い方を指導員から教えていただいた。
 - 実務補習で診断の一通りの手順を経験できたこと。チームで診断する過程を経験できたこと。
 - 仲間ができる。実務のイロハを学べる。
 - コンサルティングの疑似体験と、仲間意識
 - 実際にヒアリングして考えて報告書を作り上げたこと
 - メンバー全員が自分より若く、実務補習初体験であり熱量に圧倒された。コンサルの部分での苦労はもちろんのこと、IT ツールに着いていくのも必死で、人生で最もハードな2週間と言えるほどだった。
 - 実務補習：企業診断業務の全体的な流れ、考え方、力を入れる部分などを体系的に身をもって習得することが出来た点。指導員や若手診断士と深い繋がりを持つことが出来た点。
- 実務従事(取材の学校)：実務補習によって構築された、企業診断に対するアレルギーを払拭できた点。(純粋に自分としても楽しめた)
- 実際の実務がどのような流れで進むかがつかめたこと。実務従事先の社長さんとの距離が縮まったこと。
 - 診断士としての基本を実践的に教えてもらったのは純粋に良かったと思う。
 - 普段会えない方たちとコミュニケーションを取れて、刺激を受けてモチベーションが向上した点
 - 他の診断士さんとの強い縁ができたこと。実務の流れ、診断士の考え方を学べたこと。
 - 指導員をつけて実践で学べるという機会を、お金を払って申し込むだけで得られることです。
 - いきなり診断士デビューはしんどいので、イメージ作りになった。
 - 診断全体の流れややることが大まかにわかった。
 - 指導員の先生がとても良くしてくださって、今でも連絡を取り合える関係になれたのが良かったです。
 - 知り合いが増えたこと。
 - 診断士に求められる、スタンダードな診断・助言の方法が分かった。
 - 経営者と対話する機会が得られる。失敗を恐れずチャレンジできる
 - 中小企業の実態と診断プロセスが勉強になりました。
 - 両方体験できたので、それはそれで良かったのかなと思っています。
 - 診断士の仕事の進め方がわかった。仕事と診断士の両立がみについた
 - コンサルティング実務の流れが掴めたこと。
 - 仲間ができた。コンサルの手法を勉強できた。
 - 様々な背景を持つ優秀な同志との協働で、多くの学びがあり、また、刺激を受けた。さらには、信頼する仲間が出来た。
 - 同士ができたこと
 - 実務補習中、要所所で指導員の先生の実務経験に基づくヒントや考え方を指導していただいたこと。メンバー全員が別業種であったため、いろいろな考え方に触れられたこと。
 - 定期的に情報交換できる仲間ができたこと、お作法が一通り学べたこと
 - 診断士として求められるスキルや診断手法などを体系的に学べたこと、診断士としての仲間に出会えたこと、指導員にめぐまれたこと
 - コンサルティングの進め方が分かった。
 - 全体的な経営診断の流れを2回やることでつかめた

- 中小企業の社長との対話を通じて、中小企業への対応の仕方を肌で感じる事ができました。
- 色々な先生の指導を受ける事が出来た点。チームで協力して進行する経験が出来た点。同時期に合格した仲間とのつながりが出来た点。
- アウトプットする経験を積めたこと
- 知り合いが増えた。診断士活動のイメージが湧いた。自分の苦手な部分を知れた。
- 全体的な経営診断の流れを2回やることでつかめた
- 中小企業の社長との対話を通じて、中小企業への対応の仕方を肌で感じる事ができました。
- 色々な先生の指導を受ける事が出来た点。チームで協力して進行する経験が出来た点。同時期に合格した仲間とのつながりが出来た点。
- アウトプットする経験を積めたこと
- 知り合いが増えた。診断士活動のイメージが湧いた。自分の苦手な部分を知れた。
- 実践形式で学べたこと
- 実際の実務に必要なことを学ぶ事ができた。
- 異業種、得意分野の違う診断士仲間ができた。終わってからも定期的に飲みに行って情報交換している。
- 実務補習: 診断の流れが学べたこと。尊敬できる仲間に出会えたこと。
- 経験になった
- ヒアリングから報告書作成の一連の流れを経験できた事。様々な経歴を持つメンバーと一緒に取組めた事。
- 指導して下さる先生や同じチームの方々と交流ができ、診断士のリアルが見えた事
- 1回で十分な効果があると思われ、1回コースでよかった
- オーソドックスな方法を経験できた
- チームでの進め方を経験できた
- 診断業務プロセスの基礎がわかった。指導員の先生や、メンバーとのネットワークができた
- 講師の先生と面識ができたこと、診断士業務の初歩を知ることができたこと、診断士の知人が増えたこと、
- 実務経験をひととおり学ぶことができたこと
- 経営診断の経験ができた。素晴らしい仲間に出会えた。
- 企業診断の流れを体験できたこと。指導員の先生や他のメンバーとの人脈が出来たこと
- 診断報告書のジェネラルな流れを知ることができた点良かった。
- 実務補習:基礎が学べたこと。実務従事:自分達の力を試せたこと
- 短期プロジェクト推進の経験、報告でどうやって少しでも先方経営者を納得させるかのロジックの組み立て方を実践できる
- 診断士の実務のイメージがついた。仲間ができた。
- 自分の知識、経験が社外にも役に立てられる実感を得ることができたこと。社外の診断士とつながりを持てたこと。
- 実務補習では新しい仲間ができたこと。実務従事ではリアルな診断業務を経験できたこと。
- 基本的な流れを実務で学べたこと。
- 実務補習で先生から頂いたご指導。実務従事、現実の厳しさを知れた。
- 実際の中小企業の経営者からヒアリングをして助言をするまでの流れを経験できたこと。
- レベル感がわかった

- 総合診断が(お作法も含め)できること。診断士の基本中の基本(だが難しい)。
- 実務補習…総合診断によって会社全体を俯瞰する経験を得られたこと。指導員から豊富な経験に基づく示唆を得られたこと。実務従事…採用マーケティングというテーマに特化して、突き詰めた議論をメンバーとかわせたこと。
- 普段関わりを持たない人と仲良くなれる事。
- 実務補習も実務従事も一緒にやった人とは仲良くなれる。
- いい先生に出会えた。
- 参加者同士の人的ネットワークを得ることができた。私はコロナ前の2019年に実務補習を受けていたので、よく飲みに行きました。
- 実務補習の作法を経験できたこと
- やはり実際やってみるのは大事と感じました。
- メンバーと親交が深まり人脈が広がった
- 企業コンサルのいろはを学ぶことができたこと。自分の知らないアプリやツールを知ることができたこと。普段一人仕事が多いので、チームとして作業する醍醐味を得られたこと
- いきなり稼げる、自分の実力がよく分かる
- 実際の中小企業に対して提案する一通りの段取りを効率的に学べたこと
- グループワーク型の実務従事と、個人ワーク型の実務従事の両方を受講した。グループワーク型の実務従事では、最終日に相互フィードバックの機会があり、自分の強みや改善点を知ることができた。個人ワーク型の実務従事では、他人に影響されることなく、自分が納得のいくまで成果物の品質を高めることができた。
- 同期のつながりができたこと、実際に社長への提案書を作成する経験ができたこと
- 思いのほか安上がりで済んだこと
- 診断士として仕事をやっていけると自信がついた
- これまで企業診断的な仕事に触れあったことがなかったもので、実務従事を通じて経験できたこと
- 上記の事情で実務従事のみを選択しましたが、やはり1回は実務補習を受けたかったなあ〜と今でも思っています。
- 従事で受けて、1回目は先輩が進めてくれて、2、3回目は実務補習が1回は済んでいるメンバーがほとんどだったので、補習のやり方や改善をして進めてくれたので、困ることはあまりなかったです。

12. 実務補習・実務従事中に、特に印象的だったエピソードを教えてください。

- 2回とも私が住む街から2時間ほど離れた関内での実務補習でした。協会から最寄駅についての問い合わせが2回ともあったため、「(東京地区のどこであっても)宿泊で対応するので、どこでも良い」と回答したのですが、小さな配慮のもと少しでも近いところとのことで関内かと思いますが、正直東京で受講したかったです。
- コロナ禍の初期(2020年6月)だったので、オンラインでのグループワークも不慣れな中で進めることになった。
- 第二回目の実務従事にて、社長に何か実践してもらおうことを最終目標に置いたが、「SDGsの目標を提案通り追加していただけたこと」で達成できた。それが一番うれしかったので印象に残っています。
- フランチャイズであったため実行可能なプロモーション施策が限られている中で、社長からチラシや体験会など潜在・見込客への積極的なプロモーションをしたくないと言われ提案内容が振り出しに戻ったこと

- 倒産寸前の企業の成長戦略を描き、事業再構築補助金を申請したこと。受かったかは分からないけれど、事業者の事業に対する熱意が復活し、事業再生に向け取り組み出したこと。
- 一緒に取り組んだ方のアウトプットのスピードと質が高く、診断士試験の勉強を通じて前提知識が揃っているとこれほど仕事がやりやすいのかと驚きました。
- 班長がいましたが、いつの間にか、別のしっかりした方がまとめてくれていたこと
- ①診断先企業の社長様の喫煙率が100%だったこと。ヒアリング中に狭い部屋でひっきりなしに吸われ、対応に苦慮した。②実家のすぐ近く(直線距離で2キロほど)の企業が診断先企業だった。③メンバーにコロナ感染者が出たため、1社分の実務補習はフルリモートになった。④居住地とは違う地域での参加をしたため交通費やホテル代がかかった。印刷が必要なことがあったので、その時初めてコンビニ印刷を経験した。便利だなあと思った(笑)
- 4日終了時にWordが一枚もできず、5日目にほぼ徹夜でなんとか仕上げ、報告会は1分前に会場入りとなったこと。
- (1)自分以外オンラインという日があったこと、(2)財務担当のとき、社長が身を乗り出して聞いてくれたこと、(3)先生やメンバーと綱渡り状態で締め切りを乗り切ったこと。
- 当初は4名の予定でしたが、濃厚接触者と本人の辞退により2名で2社の実務補習をし、最後の1社は4名で実施することが出来ました。
- 1回目の実務補習で、財務担当が途中でドロップアウトした
- 県を跨いで参加されてる方も多かったので、昼や夕飯は良く名物を食べに行きました。皆で牡蠣小屋に行ったのが印象的でした。
- 先生とリーダーがマジ喧嘩
- 殴り合いの一步手前までいってしまいました。
- 最終日、社長にプレゼンしていたら、まったく素人の分野なのに、さもその専門家のようなふりができていたらしく、指導員の先生が(良い意味で)めっちゃ笑ってました
- 班長や指導員のやり方に耐えきれず、メンバー一人が他のグループに移ってしまっただ。
- 2社目の飲食店で、調査と称しておいしいお酒と食事ができた。
- コロナ禍での実務補習だったということもありますが、3社とも財務状況が芳しくなく、経営戦略の立案に制約があり立てづらかったこと。隣の班が先生にけちょんけちょんに言われて、200ページ近い報告書を作ってるなか、我々の班は70ページくらいしかなかったこと。15日コースはずっと同じメンバーなのでメンバー間での仲は良かったこと。
- 途中しんどくてへこむことがあり、LINEで励ましあったこと。夜中になるにつれて少しずつ既読が減っていき、あの人は寝ているんじゃないかとかふざけて言い合いながら遊んでました。また、コロナの影響でお店が20時で閉まり作業後にざっくばらんな話する場所が無かったため、マックに行って飲み物を買って、駅近くの外のベンチで終電まであーだこーだ言いながら話できた時が一番楽しい時間だったかもしれません(笑)
- 指導の先生から、・ヒアリングが全て・汗をかく・役に立つを肝に銘じなさい、との教えを受け、非常に感じるがあった。きちんと現状把握して、汗をかくことを厭わず足で稼ぎ、現地現物で得た自信あるプレゼンでお役に立つ。全ての仕事に共通すると思えました。
- ページをマージしたときの、ページ番号がずれたり、ページ番号が表示されなくていいページでページ番号が表示されたりして、大変でした。強引に、白い箱を上のにのせて、隠しました。

- 15日間コースの最終日が終わり打ち上げをしているとき、チームメイトから「仲間だから言うけど、あんたの日本語(書き言葉)変だよ」と言われた。思い返してみると、チームの2名が終盤に見直しと書き言葉の修正担当に任命されていた。それは、自分のおかしな日本語を修正する担当だったようだ。
- プリンターが遅過ぎて印刷が間に合わず、協会に行き行ってプリントアウトしてもらいました。
- いっぱい飲んだ！
- 記録的な降雪で電車が不通となった期間があったが、それをうまくかいくぐって全日無事に参加できたこと。
- プレゼンの前日夜 18:00 からプレストが始まった。
- あまりにもちゃぶ台返しを指導員が(意図的に)やりすぎて、途中から皆が真面目に考えることをやめ始めたこと。人間のモチベーションがなくなる仕組みをそこで体験して意図とは違う学びを得ました。
- 3社目、財務担当のメンバーが20ページ強の診断書を書いてきた(通常、多くても12~13ページ)。社長に本当に感謝されたので良かったと思うが、製本に回す日も時間をオーバーしながら、カフェで執筆していた(製本所に持って行くのを、みんな待っていた)。
- 食品加工卸の会社の実習先で、頂いた食べ物がとても美味しかったこと！
- みんなリモートが楽で、全然会場にこなかったです。
- 15日間コースだったので、特に3社目からは指導員の先生も気を抜いていて、様々な診断士の裏話や小ネタを聞けました。
- 報告会に、実習先企業の取引金融機関の関係者がオブザーバー参加することになり、非常に緊張しました。
- ①研修講師のチームメンバーが居て、模造紙での意見出しがスムーズだった ②指導の先生と1名のメンバーが合わず、喧嘩に近い形で終わった回があり、気まずかった ③財務担当で苦労したが、公認会計士のチームメンバーに色々教えてもらえた
- 従業員へのヒアリングで昇給などの待遇や社長の振る舞いを率直に告白してくれる方がいました。詳細は言えませんがオーナー中小企業に勤めるリスクを実感させられました。
- 才気煥発でITにも詳しいメンバーが、チーム内で少し浮いていました(彼に悪気は無かったのですが)
- お話好きの社長が制御できずに、ヒアリング時間が2時間の予定が5時間以上かかってしまった。コロナで参加メンバーは2名までと指示されており、それ以外はリモート参加であったため、飽きて寝てたメンバーもいたとかいないとか。
- メンバー間で意見がまとまらないときに、先生も巻き込まれて、先生も混乱していたのが印象に残っています。
- メンバーにSEの人がいて、フォームがバラバラの報告書を、あつという間にマージしてしまった。それにより時間が滅茶苦茶余った。
- 指導員の先生とのお酒の付き合いが深夜に及び大変だった
- 報告会終わりに社長と指導員、メンバーと飲みに行ったこと。
- 隣の班から、4日目くらいに「SWOT分析をして〜」みたいな声が聞こえてきて、「今そんなこと言ってる大丈夫なのかな」と心配になった。(その班は15日コースを無事やり遂げました)
- いろいろあって、書き切れない。
- 指導員が最初から分担決めした回を除いて、担当分担の駆け引きがありました。個人的には、不得手な分野にチャレンジするのが良いと思います。

- 指導員や受講者の話を聞くと、意外に長野の人と一緒に実務補習したという話を聞く。長野から参加というだけで話のネタになる。
- NPO 法人の会計基準が独特で、報告書フォーマットもなく手探りで作った。業種も障害者施設で利益追求だけではダメなところに苦労した。班長の自分が公務員なのは良かったかもしれない。
- パソコンスキルがないとついていけない。1次試験に、ワードを入れた方が良くも。高所得者が多いので、昼夜の食事代飲み会代、タクシー代が大変。
- 実務補習の企業に経営戦略を提案し、大変喜ばれたこと。抱える問題が多岐に亘っていたが、中長期的に課題解決するストーリーを立てられたと感じていたので、実際に受け入れられたときはアドレナリンが出ました。
- 一回め、印刷製本で予算オーバーに。
- 3日目の朝、先生が「さあ、これまでのことは一旦リセットしましょっか」と言ったこと。(これはちゃぶ台返し??(笑))
- 報告会に同席していた信金職員の靴を間違えて履いて帰ったこと(後日、菓子折りを持って、青梅の信金まで謝罪・返却を致しました)。
- 指導員の先生の思考の深さ。
- 大阪は17時きっかりに終わった(働き方改革だから残業しないという考え)が、名古屋は先生の事務所で21時までやって、辛かった
- 8月の実務補習は毎日飲み会で4日目、5日目は午前様帰宅でした。3日目も飲み会が長引き、次の日の朝3時から資料制作に追われました。
- バスで山奥の診断先まで行った。バスから降りて歩いていたら観光地の送迎バスの運転手に「○○(パワースポット)に行くんだよね?(乗る?)」と聞かれた。スーツ姿の我々が秘境のパワースポットに一体何をしにいくと思われたのでしょうか。。。
- 8月、ヒアリングの場所(先方の事務所だが、普段使っていない)がエアコンが効かずかなり暑かった。先生が機転を利かせて報告会の場所は別の事務所になった。
- 副指導員の先生が非常に稼いでいらっしゃるようで、実務補習終了後の打ち上げ(二次会)で高級な会員クラブに連れて行ってくれたこと。また、今後にとっても役立つ資料、推薦図書一覧までいただいたこと。
- 名古屋回で、沖縄からの参加者がいたため、名古屋飯を食べさせたいと毎食名古屋飯巡りをしたこと。
- 2回目の実務補習先が飲食店で、昼食を兼ねて覆面調査することになって、メンバー全員が時間帯をずらして来店したが、バレバレだったこと。
- その時のご縁で地方創生アイデアコンテストに参加させていただき、日本一になることが出来ました。
- 印象的というか、2回目の診断先が、すでに実務補習何回目かで、診断慣れしていたのは手ごわかったです。
- 3回目の実務補習の報告会で、社長が急用で不在となり、事務の方に対して報告することになった。そのため、説明の仕方を直前に見直した。
- インタビューの時間よりも社長が早めにいらっしやっしまい、準備ができていない状況で始まったにもかかわらず、チームメンバーの皆さんがスムーズにインタビューを初めていらっしやっ、周りの皆さんの対応力に感服しました。
- 最終発表日、社長は出張に行っしまい、社長の代わりに息子の専務がプレゼンを聞いてくれた。事業承継をテーマにしていたプレゼンは息子に受けが良く、結果オーライと思った。
- マージ前日に、見取り図の添付と、山崩しの資料を追加するよう言われたこと。(その日の帰り道、図書館に向かい、資料集めし深夜資料作成することになりました)

- 1回目の実務補習：4日目の最後に、報告書を受講生が印刷して製本するのが普通ですが指導員の先生が「じゃあ印刷と製本は僕やって明日持っていくので明日10時に現地ね！」と帰っていったこと。5日目の協会への報告時、班長が報告しにしているのに先生が「じゃあここで解散ね！」と言って班長待たずにお開きになったこと。
- 2回目の実務補習：最終日の指示がメンバーは「アポが13時だから13時前に改札集合ね」と言われて半日コースだったこと。
- コロナにより、打合せ場所の確保に苦労した。支援先が千葉の田舎のため、近場に貸し会議室もなく、毎回違う公民館を借りた。2日目の路上アンケート実施後の打合せは移動時間短縮のためカラオケボックスで行った。
- 実務補習にて初日の企業訪問前にメンバー内でヒアリング内容を議論し、将来この会社をどうしていきたいかといった質問と、それを深掘する質問を想定で挙げておいたが、訪問の場で社長からは、後々売却しようと思っているという返答が来た。以降は、売却を前提にした構想・従業員への対応などの質問をアドリブで投げることになった。売却というキーワードがともするとネガティブに捉えられるため、診断結果報告書のまとめ方は苦慮したが、チーム内で議論した結果としては、(売却先に対しても魅力的に映るよう)企業価値を上げること。そのために従業員の満足度向上、品質の向上を目指すといった方向性を導き出した。
- 1回目は群馬2人、静岡2人、長野1人という地方メンバーで、MILO(ホワイトボード)などオンラインツールを活用しながらオンラインで初日と最終日以外は進行できたことです。2回目は指導員と班員の口論が毎日発生し、毎日険悪な状況で最後までどうにもならなかったことです。
- 実務補習の際に、リモートでしか接していなかった地方(日本海側)の受験仲間に直接会うことができたこと。
- 昼ごはんや晩ごはん美味しい名古屋メシを食べたこと。
- 毎日名古屋めしを食べたこと。指導員の先生と地元のメンバーが美味しいお店を紹介してくれた。班長を経験し、最終日の3/14に指導員の先生とメンバーからサプライズでチョコレートをいただいたこと。
- 初日に行ってみたら指導員と私の2人の状況で、午前の挨拶が終わってお昼休憩になった際に「指導員の方と2人だからいろいろ聞いてみよう！」と意気込んでいたら、指導員から「指導員からごはんに誘ったらパワハラになると言われているし、女性と2人で行ってセクハラ問題になっても困るので、今日は別々に食べましょう。下にコンビニがあるみたいなので」とさらりと言われて会議室に一人取り残されてしまったこと。コンビニに行く途中でほかの班の人たちが、新入生のようにグループになって「何食べるー？」と和気あいあいとしているなか、1人でコンビニでおにぎりを買って戻りながら、仲間外れにされているいじめられっ子の気持ちになったこと(涙)
- 四日目五日目は睡眠時間一時間程度で臨んだ。慣れないことにストレスで、食欲がなく、体重が5キロ減った。
- 我々は話し合いをしているのに、突然、先生の講演会が始まってしまい、話し合いが終わらなくて焦った。
- 社長の理想を虚像と言って注意された人がいたこと。延々ネタにされている。
- 実務補習の際、課題関連図をみんなで作ったこと。壁に付箋を貼り付けて、話し合いながら並べ替えました。
- 訪問先に行くためにバスを使ったのですが降りるところを皆で間違えて必死で歩きました。良い思い出です。
- 途中で1人メンバーが離脱し、しわ寄せが他のメンバーにいったこと。

- ▶ 実務補習の先生は、言葉数が少ないけど、コメントが秀逸。マーケティング戦略で「共感を得る」と書いたら、「共感なんて言葉を、そんなに簡単に使うもんじゃないよ。」とグサッとくるお言葉。現場の大変さを思い知る場面でした。その後、先生と、現場感覚を深めるお話ができたのは良かったです。
- ▶ 人数の都合で15日間コースに一人だけ5日間コースの私が混じる形でしたので一人離脱する感じになってしまったのですが報告会の時、仲間が5人でやるのは最後なので気合い入れていこうと鼓舞してくれたのが嬉しかったです。
- ▶ 隣の班の方のクセが強く(声がとにかくでかい、議論をすごく掻き回す)て、指導員の声が聞こえなかったりした
- ▶ グループワーク中、指導員の先生が毎日ご当地スイーツを差し入れしてくださったこと。その企業のブランディングや経営理念、強みなど診断士ならではの解説も交えながら、勉強になるブレイクタイムでした。
- ▶ 実務補習初日に電車が止まり、全員が復旧の情報を収集しつつ、いかにして早くたどり着けるかという競争になったこと。
- ▶ 50代の自分を除くメンバーが全て20代、30代前半だったのが衝撃でした。
- ▶ サービス業、飲食店などではメンバーが実際に店舗で客として経験しに行っていた。
- ▶ 6名中の2名が、ご近所さんでした。よく行く地元のスーパーで会っているかもしれません。
- ▶ お酒好きのメンバーばかりで、5日間全て飲み会だった。3日目に報告書がほとんど手付かずのメンバーがいた。
- ▶ ワークेशनということで、リゾート合宿(費用がかさみました、)
- ▶ タキプロ生が自分の班にも他の班にもいてタキプロすげーって思いました
- ▶ 提案後社長から怒られたこと。ただ資料を作れば良いと言うわけではなく、もっとクライアントのことを理解して提案を深めるべきだった。甘くないと思い知らされました。
- ▶ 診断先の社長が自分たちのプレゼン、提案に対して「泣きそうになるくらい嬉しかった」と言ってくださったこと。
- ▶ お好み焼きが食べられた
- ▶ 広島グルメ(お好み焼き、汁なし担々麺など)を満喫できた事。最後のプレゼンは受講生よりも指導員の先生が熱くなり、一番熱心にプレゼンをしていた
- ▶ 属性が全く異なる中小企業診断士と交わり、改めて自身のSWOT分析ができたこと
- ▶ 社長が脈絡なくいっぱいしゃべる人だった
- ▶ 実務補習で、工事現場の見学が出来たこと。建設業の会社でしたが、実際の現場で後方や機材、職人さんの動きから、現状課題を肌で感じる事ができて、とても刺激になりました。
- ▶ 実務補習では診断先の比較的近くに住む合格者(未登録者)が集められるので、業界が異なる方と面識ができ、異なる業務経験があることがよくわかった。診断士協会の行事でも顔を合わせて、色々教えてもらえるので、非常に助かっています。
- ▶ 最初に実務従事を受けた際、別のチームに更新ポイント獲得のために受講していた方がいたが、調査内容のレベルがものすごく高かった。自治体や関係先に電話問い合わせなども行っていたので、それを参考にして次回の実務補習の時に実践したところ、指導員の先生からお褒めの言葉をいただいた。
- ▶ マージが上手くいかず、提案書の印刷が報告会開始時間ギリギリでかなり焦った。
- ▶ メンバーの地域の幅が広く、大阪、兵庫、徳島、富山、三重の混載チームだった。全員揃う形ではもう二度と会えないメンバーだと思えます。

- ▶ 最終日の社長へのプレゼンでは、担当者ごとに報告書を指で指し示しながら内容を説明する形だった。印字ミスで1ページ潰れているページがあったが、そのページを説明している人が印字ミスに全く動揺せず、社長の視線が印字ミスの箇所から外れるように説明していたことが印象的だった。
- ▶ 最終プレゼンの後、飲みに行きました。コロナで飲食店もお酒の提供がない中、探し回ってやっと見つけた店で飲んだのは楽しい思い出です。(質問の趣旨と違いますかね?)
- ▶ 報告後、先方経営者からほめてもらえると思ったら、そうでもなかったことがありました。
- ▶ 二月研修はあっという間に、定員に達したためネット枠で申し込めず、郵便枠で滑り込んだ。三日目、ホテル高層階(東京)に宿泊し報告書作っていたが地震が発生し大揺れしその夜は落ち着いてレポート書けなかった。(そんなことあっても何とかなる。)
- ▶ 地方(広島)参加だったこともあり参加者は中四国、関西から集まっていた。強者は全期間で有給を取り広島観光を楽しんでいた。
- ▶ 途中でドロップアウトされた方がいて、その分もカバーしなければならなかったこと。
- ▶ コロナウイルスを気にしながらも4日はメンバーとコミュニケーションできたこと。
- ▶ 実務補習で一緒になったメンバーがわざわざ自宅に来てくれて、ミーティングしたこと。
- ▶ 値引き圧が強くて収益性が低く、債務超過で苦しみ打つ手が見当たらない企業でしたが、メンバーみんながそれぞれの得意分野でアイデアを出して一生懸命にどうにかしようとしていた時。
- ▶ 効率よくやって、飲みニケーション重視で行ったこと。
- ▶ 指導教官が5Sの先生だったので5Sを実感できた。

13. これから実務補習・実務従事を経験する後輩に向けてアドバイスをお願いします!

- ▶ 学生時代に経験した課題に追われる体験は、大人になり経験することが少なくなりました。チームでひとつの成果物を完成させることは、必死に課題に向かった昔を思い出させる貴重な体験となりました。スマートに振る舞う必要はなく、自分のスキルを出しきるつもりで取り組んでほしいです。でないと貴重な体験になり得ないと思います。泥臭く頑張ってください。
- ▶ 仲間と共同でやる診断の第一歩となります。その後の人脈にもつながりますので一生懸命頑張ってください。
- ▶ 私は実務補習を受けられませんでした。実務従事で近い経験を実質費用なしで出来たので、それぞれの事情に合わせて色々な可能性を探ってみるのが良いと思います。
- ▶ 実務補習や実務従事を「やった」だけでは効果は半減、「振り返り」が重要です。プロジェクト(グループワーク)のプロセス、自分のストロングポイント・改善点などをしっかり振り返り、診断士に向けた有意義な実務補習・実務従事にしてください!
- ▶ 実務補習、実務従事ともに同期とのつながりを得る意味ではとてもメリットがあると思いますのでぜひ楽しんでください。
- ▶ 臆せずどんどんチャレンジすべき。待ってても、何も来ない
- ▶ 登録を急がない人は、少しずつ時期をずらすと幅広い世代に仲間ができるので、ゆっくり実務補習もいいのではないのでしょうか。

- 以前の問題点を改善して行った方が無駄がないと思います(指導員をしています、指導員会議で聞いたアンケート結果から私も受講生が望んでいる方法をかなり取り入れましたし、受講者もその前に受けた補習の方法を改善しつつ行ってきて、やりやすかったと言われました)
- なんだかんだで実務補習最強
- 実務補習は一緒になるメンバーによって非常に状況が左右されます。SNSには「いいメンバーに恵まれた!」という投稿が多くなりますが、そうでないことも多いのではと思います。来年度からは実務補習制度は変わるようですが、登録を急いでいないのであれば、毎回メンバーがシャッフルされるように参加されることをおすすめします。
- 学びが多いだけでなく、診断士試験に合格したメンバーが集まり議論できる経験は貴重です。ぜひ楽しんでください。
- お金を体力と有給を貯めておくことをお勧めします。
- 頑張ってください。企業様の立場に立って考えることが重要だと思います。
- 案ずるより産むが易し! 貴重な経験を得られる機会です。楽しんでください!
- 完璧にしようと思わず、適度に手を抜くことが大切です。こんを詰めると、本当に体力がもちません(特に15日間コース)。そもそも一回のヒアリングと作業期間一週間でそんな大層なものではできません。ロジカルにまとまっているかに注意して、改善策はすぐ実行できそうな簡単なものが1、2個でもあれば喜んで貰えました。
- 楽しんでください!
- いいことばかりでもないということが実感できました。
- 時間が許すなら、15日コースおすすめです。さくっと登録できるし、メンバーとも仲良くなれるので。
- 時間が取られることは覚悟しておいて下さい。
- 実務補習は短期間で基本を身につけられる期間だと思います。時間との戦いで大変だと思いますが、何事も基本は大切。頑張ってください。
- 大変ですが、大人になってからはなかなかできないような高校の部活の合宿のような経験ができます。是非楽しんできてください!
- 寄せ集めチーム作業することは実業務になるとなかなか無いため、全部楽しんでください! 良いことも嫌なこともこの短い期間に詰まっています。
- 3度ある役割分担では、重複せずに幅広く担当されることをお勧めします。折角のチャンスですので有意義な実りあるものにされることを祈念します!
- 合格直後にしか受けられない協会の実務補習。Wordなので結構負担が重いですが、実務補習を受けるのもいい経験かと思います。可能であれば、実務補習を受けることをお勧めします。
- 楽しんで!
- 先生によっていろんなクセがありますが、この先頼りになる仲間が出来ます! ずっと実務補習ネタで笑えます。
- 頑張れ!
- 初対面の指導員、メンバーと激論を交わすことで人間性がモロに出ます。そのおかげで今もこれからも信頼できる仲間に出会えました。相手をリスペクトして考え方の違いを楽しんで話し合いをすることで、自分1人の脳みそでは考えつかない素晴らしい報告書ができあがると思います。
- もし指導員が書籍を出していたら、それを読んだうえで臨むと、講師の伝えたいことを深く吸収することができます。
- 実務補習では、診断の流れを経験するのはもちろん、複数人でひとつのものを作り上げることも大きな経験です。両方を疎かにせず、多くのことを吸収してください!

- 先生によって考え方を矯正させられたり、チームとの協業は大変かもしれませんが、診断士として独立して活躍したい方は結局「個人の得意能力」をどのように診断先に発揮していくか、という見せ方も大事だと感じています。なので、100%周囲に合わせすぎず自分だったらどのように訪問先の力になっていくか、を想像しながら楽しんでやることをおすすめします。
- もし独立を考えているなら、ぜひ実務補習を受講し、できれば戦略を担当することをお勧めする。事業計画書や補助金申請書の作成、経営相談などの際、戦略担当は確実に役立つ。いろんな先生がいて、やり方もさまざまだが、コンサル業に正解はないので、いろんな手法を学び、いいとこどりをしたい。ここで世話になった同期や先生方との縁は、将来にわたって必ず生きてくる。
- 実務補習メンバーは、濃密な時間を協力して過ごすので、登録後も良い仲間となり情報交換など、とても頼りになる存在になります。
- 予算が許すのであれば、5日間は実務補習を受けるべきだと思います。診断の流れや、普段接点のない企業、メンバーとの出会いはかけがえのないものとなります。
- 実務補習はそれなりに忙しいです。ちなみに登録後はもっと忙しくなると感じます。お楽しみに！
- 15日間コースは濃い1.5か月になるので、できるだけほかの仕事を入れないようにしたほうが良いと思います。チームメンバーは様々なバックグラウンドの方がいるので、理解し合いながら前向きな意見を出し合っていくとまとまると思います。指導員の先生との付き合いは診断士取得後協会でも続くので、文句があってもぶつからないように、大人の振る舞いをしたほうが、今後のためになります。できるだけ人的ネットワークを実務補習中に広げていくことをお勧めします。
- PCや受講費などお金が必要になります。勉強に専念して飲み代を節約しておいて下さい。皆様の合格を祈っております。
- 初めてだらけ、苦労や苦心も良い経験(肥やし)になるので、頑張ってください。
- 実務補習中は大変ですが、その分得るものは大きいと思います。頑張ってください！
- コンサル系の実務に携わったことがない方は、良い学びになるかと思います。頑張ってください！
- 実務補習は1回は受けておいた方がいいです。
- きついとは思いますが頑張ってください
- そんなに構える必要はないかなと思います。メンバーや指導員、社長とのコミュニケーションを楽しむのが良いと考えます。
- とにかく、支援先企業の社長に対するリスペクトは欠かさないようにして下さい。ご自身が大企業／組織の所属・出身であっても、それを鼻にかけるといった態度や上から目線でのアドバイスや意見出しは論外です。
- お金が許せば、実務補習でしっかり診断技術を学ぶことをお勧めする。
- とても良い機会だと思います。自分なりに課題を設定して臨むとさらに得るものが大きくなるでしょう。
- 指導員、受講生、社長との出会いを大事にいただき、今後の診断士活動のスタートラインに立つために、全力で挑んでください！
- 実務補習の真っ最中です。実務補習では1次試験、2次試験で勉強したことを余すところなく使います。まさに3次試験です。苦労もありますが、報告書を見る社長は真剣そのもので、お褒めの言葉もいただき感動しました。経営診断の醍醐味を味わってください。
- サラリーマンの方は、会社をクビにならないように、上手くやってください。
- 中小企業診断士としての経営診断を体感できる貴重な機会です。真剣ではありながら、ぜひとも楽しんでください！

- Zoomに耐えられるよう、PCやネットワーク環境を整えて臨みましょう。
- 苦手な役割にもチャレンジできる環境ですので、是非、ご自身が苦手な役割にもチャレンジしてみてください！
- どんなにあなたが優秀になっても、相手のことは大切にしましょう。
- 学びが多く、成長の機会になります。
- 特に企業内の方は外部でのコンサルティングをすることで新しい世界が見えると思います。
- 前もって準備することが肝心です。後は健康管理だけです。
- マージ担当を丁重に扱きましょう。
- 事前の予習はやりすぎるくらいやるべき。事前に決算書があれば穴があくまで見ておくべき。質問は事前に検討してきかなくてもいい質問は極力減らして中身のある質問を用意する。
- 本業との両立は大変でしたが、様々な業界・業者の方とグループワークができる貴重な体験だと思います。
- 社長ヒアリングでどれだけ状況を把握できるかが報告書を仕上げるにあたっての肝になると思います。事前に質問をいくつか準備して、多くの情報を引き出せるとよいです。また、報告書作成に向けて、チームでディスカッションしますが、経営戦略、営業、システム、人事など、幅広い知識があると、充実したものにできると思います。これは診断士試験の勉強だけでは不足ですので、日頃から、書籍などで知識を深めておくとうよいと思います(私はペラペラの知識しかなく、チームにあまり貢献できなかったように感じました)。
- 働きながら実務補習を受ける方は、3年間の実務補習の受講期間をうまく分散して受講されることをおすすめします!(私自身が受講を先伸ばししてしまい最終年度にまとめて受けることになりスケジュール組みに大変な思いをしました。)
- 明確な答えのないことを考え続けることは大変ですが、間違いなく自分の力になるので諦めずに頑張ってください!
- 実務補習期間中は大変でしたが、横のつながりをつくるいい機会でした!是非、1回だけでも参加されると良いと思います。
- 世の中にはいろんな企業があり、それぞれの社長がいろんな思いを抱いて会社を動かしています。そんな現場を見るだけでわくわくです。報告書作成は大変ですが、それに見合った充実感は得られるはず。チームメンバーとの協働も連帯感が生まれ貴重な体験です。苦勞しながらも楽しんで実務補習・実務従事に取り組んでください。
- 実務補習でのご縁は同期も指導員も支援企業様も全てが貴重なご縁です。大事にしましょう。
- ありがたい経験だと思うので、有意義に使ってほしいです
- 単に資格を取るための手段とは思わずに、先に書いたように、実務補習の本来の趣旨を理解して取り組まれたほうが、目的意識を持って取り組めるのでよいのではと思います。私は最初わからずに取り組んでいましたが、2回目以降はモチベーションが違ってきました。
- 大変ですが、とても勉強になりますし、何より刺激をもらえてモチベーションが高まります。ぜひ頑張ってください。
- 実務補習は大変ですが、リアルな企業の診断経験や診断士同士のネットワーク形成など、得られることが沢山ありますので、頑張ってください。
- 実務補習だから許されることも多いので、なんでもありのつもりで思い切ったことをしてほしい。
- ワードのスキルを上げたり、企業内容の調べ方など事前にやるべきことを把握してから臨まないとう辛くなります。
- 実務補習の申し込みは、開始日の10時にやるべき!

- 夏の実務補習、40分で申し込みが埋まり、申し込みなかった登録前診断士が多くいます。実務補習の定員を増やすのにも限界があるため来年の実務補習は本年度合格者も加わりさらに熾烈な申し込み争いが予想されます。申し込み開始時間に予定がある人などは募集人員は少ないですが速達の郵送で朝のうちに申し込むのも手です。
- 自宅の給湯器不調トラブルと重なり、とにかく寒くて血尿が出るかと思うくらい苦勞しました。実務補習を共にしたメンバーとは良い付き合いを継続しています。報告会后に、支援先で映画の撮影があり、エキストラとして参加させてもらったのも良い思い出です。
- 中小企業の社長は生き残りをかけて、常日頃会社や業界のことを考えています。言わば業界の専門家と対等にお話出来る機会はとても貴重ですし、お役に立つべく本気で課題にぶつかることはとても楽しいです。自分の知見を広げることを楽しみながら、実務補習・実務従事にチャレンジしてみてください！
- 費用が高かったこと、登録を急いでことなどから実務従事を2回受けましたが、ご縁や学びは大きかったので、今考えれば実務補習を3回受けるというのも有りだったかなと思います。実務補習は、登録前しかできないのでぜひ様々な学びを楽しんでください！
- 今となってはいい思い出です。ひよこ であることを利用して、色々失敗したらいいと思います。指導員がフォローしてくれます。実践では失敗できないから
- 少なくとも1回は実務補習を受けることをお勧めします！
- 主体的・積極的に取り組むか否かで得られるものが大きく変わると思います。失敗を恐れず、見栄をはずす、診断先企業のために真剣に取り組むべし！素敵な仲間もできて楽しいですよ。がんばってください！
- 実務補習はくじびきです。
- 準備できることは全部しよう。
- 実務補習はせめて2回受けとけば良かったと思いました。他の先生のやり方も教えてもらえたらもっと思考の幅が広がったかなと思います。
- 診断士合格者の仲間を作る貴重な機会なので、楽しんでください！
- 実務補習は最低一度は経験した方がよいと思います。指導員の先生との縁、補習のメンバーとの縁は大事だと思います。
- 診断士をまとめるという経験は班長でしかできないので、是非チャレンジしてください。現実ではそういう機会はめったにないと思うので。
- 大変ではありますがかなり学びの多い時間となるはずですよ。頑張ってください！
- 実務の基礎になることは間違いなので、色々あるとは思いますが、がんばってください。一次試験から二次、後述、実務補習・実務従事と、ここまでがセットなんだな、と終わってから思いました。試験勉強の振り返りにもなります。
- 診断士活動を軌道にのせるためのステップとして積極的に活用していただきたいです。
- 両方を経験しましたが、話のネタとして1回は実務補習を受けておくと良いと思います。実務従事は全てオンラインで対応し、費用負担もなかったため、コスバ重視なら実務従事の織り混ぜがオススメです。
- ファイトです！終わった後のビールは最高です！
- リーダーの役割を担当しましたが、大変勉強になりました。もちろん指導員、メンバーの助けがあったからこそ無事役割を担え報告できたものと考えていますが、リーダーは良い経験になるのでおすすめですよ！
- 実務従事の機会や情報は結構見つけるのが大変だと思います&結構すぐ埋まります。合格が分かっただけに情報収集することおすすめします。

- 実務補習の修了時には「楽しかった」の一言でしたが、そのためには事前の予習(企業情報や診断ニーズ、基本的な診断プロセスなど)が重要だと思います。事前準備をした上で、ベストを尽くすことで充実した実務補習になると思います。
- 実務補習、実務従事とも積極的に行うことで、様々な経験や人脈ができます。様々なコースがありますので、研究して参加してください。
- 実務補習は一度は受けた方が絶対良いです。
- 実務補習は指導員にもよるので、ぜひ2回以上受けることをお勧めします!がんばってください。
- 少なくとも2回は、(実務従事ではなく)実務補習を受講することをお勧めします。仲間もできるし、診断の何たるかを指導員の指導のもとで体験でき、想定以上に良い経験でした。診断士資格を得てからでは、経験できません。
- 個人的には同じ志を持つ仲間に出会える実務補習を1回でも受けると良い経験になると思います!
- タイトなスケジュールのなか、ヒアリングからアウトプットまで一気通貫でできる貴重な機会です。様々なメンバーに出会える素敵なチャンスなので、合格したご褒美としてぜひ参加してください。かかったコスト以上の収穫が得られます
- コミュニケーション力が最も大事かと思しますので普段から人と話す癖をつけていたほうが良いと思います。私はコミュ症でしたのでメンバーに慣れるまで少し時間がかかりました。得られることが大きいので、受けるか悩まれてる方は1回は受けた方が良いかと思ます!
- 実務補習は前向きに受講するか後ろ向きに受講するかで得られるものは大きく変わるので状況によっては大変なこともあるかとは思いますが楽しむつもりで前向きに頑張りましょう。
- めっちゃ良い経験
- 実務補習の期間に仕事が忙しくならない様に事前に調整をしておくべき
- 実務補習の参加費は安くはありませんが、得られる経験や知識、仲間との出会いなどを考えると十分に価値があるものだと思います。ぜひ積極的に参加してみてください。
- 一度は経験した方がいです。
- そこまで辿り着けた喜びも感じながら、将来を見据えて力をつけてください。色んな職業や考え方を持ったメンバーがいますが、そこでチームプレーに徹して、チームワークを発揮する事も今後の実務にとっても重要になると思います。
- 楽しくやるのが一番だと思います。
- 地道に努力を重ねるとその人にしか見えない道が出てくるかと思われまのでご尽力ください。応援しております。
- 実務補習を一回はやった方が良いです。できればリーダーもしくは財務分析を
- その期間は業務を調整してある程度集中できるようにすれば、より楽しめて有益になると思います
- 是非主体的に参加してほしいです。自ら考え行動するのと、言われたことをやるのとでは、得られる知識経験が全く変わってきますから。あと、実務補習は5日間だけでも絶対受けるべきだと思います。
- 基本的には、実務補習を3回(15ポイント分)に参加して、講師の先生(先輩診断士)と交流できるようにするとよいと思います。
- 実務補習は短期間でとても大変ですが、一度は経験しておくことをオススメします。
- wordスキルがある程度ないと、みんなに迷惑かけることになります。
- 実務補習5日間コース、徹夜続きの体力勝負なので、気力で乗り切ってください。
- 補習はいい出会いの場です。場合によってはこれからの診断士生活のベースになる機会です。積極的にネットワークづくりを行ってください。

- 実務補習はとにかく大変ですが、勉強の成果がそのまま活かせる貴重な機会です。チームワークが重要で気苦労も多いですが、さまざまなバックグラウンドを持った診断士とのやり取りは非常に刺激的です。ぜひ楽しんで取り組んで下さい！
- 体調には気を付けてください。
- 大変なことも多いですが、素敵な経験と仲間が手に入りますよ！
- リーダーは一度はやった方が良い
- 苦労した分必ず身になります。しんどいと思ってても未来の自分のためにもう少し、もう一歩頑張ってください。
- 貴重な機会で、いつでも受けられるものではないので、行ける時に逃さず行くのが良いと思います。
- 初日のヒアリングでその後の助言がうまくいかどうかが決まってしまうので、がんばってください。
- 最初の社長ヒアリングが非常に重要です。
- 色々な人と接するいい機会だと思います。学びが多いと思うので頑張って下さい。
- ここで見た・聞いたことがおそらく一生残ります。大切に！
- 実務補習、診断先の協力具合や指導員の姿勢などの点で当たり外れがあると聞きますが、総合診断をする機会は顧問にでもならない限りなかなかないので、最初にやっておいて損はないと思います。
- 実務補習は人間関係でのトラブルも多いようですが、同じチームになった方とは戦友として長く続く絆ができます。ぜひ、1回は実務補習を受けましょう。
- これが終われば資格取得できます。落ちることはないので気負わず頑張ってください。
- 実務補習と実務従事とバラエティを持った組み合わせもおすすめです。
- 実務従事は確かに大変ですが、診断士として一度は経験する価値があります。ぜひ積極的に取り組んでください。

以上